

北栄町二地域居住等促進協議会 設立準備会 議事録

日時：令和7年2月26日（水）11:00～12:00

場所：北栄町役場3階 第1委員会室（WEB併用）

出席者：

- 北栄町副町長：岡本 圭司
- 自治会代表：井勢 建二（由良宿自治会長会代表）、別所自治会長
- 商工会：小椋 秀一（事務長）
- 観光協会：吉川 加珠弥（事務局長）
- JA鳥取中央：桑原 慶行（営農企画部）、西村 好美（北栄営農センター長）
- 民泊事業者：若狭 春奈（民泊MOKUBA）
- 地域住民：斉尾 俊和（編集・ライター）
- 鳥取県関係者：小谷 章（中部総合事務所県民福祉局長）
- 有識者：長曾我部 まどか（鳥取大学准教授）
- その他専門家・企業関係者（オンライン参加）
 - 大西 浩嗣（地域力活性化起業人、EI！HOKUEI代表）
 - 伊藤 俊徳（一般社団法人 WorkDesignLab パートナー）
 - 西尾 知宏（株式会社ラシック 取締役）
 - 加藤 遼（株式会社パソナJOBHUB ソーシャルイノベーション部長）
- 北栄町事務局：
 - 永田 裕一（観光交流課長）
 - 清水 直樹（産業振興課長）
 - 中野 智子（企画財政課長）
 - 渡辺 健二（生涯学習課長）

議事内容

1. 開会

岡本副町長より開会挨拶があり、本協議会設立準備会の趣旨について説明。

2. 議題

(1) 二地域居住等促進制度の概要について（資料1）

事務局より、二地域居住の定義・メリット・国の施策について説明【11】。

- 二地域居住とは：
 - 主な生活拠点とは別に地方に生活拠点（ホテル・民泊等を含む）を持つ暮らし方。
 - 社会的意義：地域の担い手確保、雇用創出、関係人口の拡大。
 - 個人的意義：多様なライフスタイルの実現、リスク分散（災害・コロナ禍対応）。
 - 課題：住まい、仕事、コミュニティの整備が必要。
-

(2) 北栄町特定居住促進計画の例について（資料2）

事務局より、北栄町の特定居住促進計画（案）について説明【13】。

- 背景
 - 人口減少・少子高齢化が進行。
 - 産業・地域の担い手不足が深刻化。
 - 競争激化で移住者獲得が困難。
 - 北栄町の強み
 - 移住・関係人口の取り組みの実績。
 - 観光資源（名探偵コナン）を活用。
 - R7-R9年度の大型プロジェクト（道の駅整備、青山剛昌ふるさと館改築など）。
 - 計画の主な内容
 - 特定居住促進区域：コナン通り周辺、由良宿、観光地域、旧市街地など。
 - 施策
 - 宿泊施設整備（民泊支援・宿泊施設誘致）。
 - ワーキングスペース整備（図書館、公民館の一部改装）。
 - 商業支援（飲食店・事務所・店舗創業支援）。
 - 地域交流促進（イベント、ワークショップ、コミュニティ活動強化）。
-

(3) 意見交換

地域住民の意見

- 既存住民との調和を図りながら進めるべき。
- 農業・観光業の人手不足を補う受け入れ体制の整備が重要。
- 地域のイベントを活用し、交流を深める仕組みが必要。
- 子育て中の者を対象に、保育などの支援の検討が必要。

企業・専門家の意見

- 短期施策（訪問者の増加）と長期施策（定住促進）を明確に区分すべき。
 - ワークーションや企業研修の誘致を強化し、関係人口を増やすべき。
 - 都市部企業との連携による雇用創出を進めるべき。
-

(4) 協議会の設立について（資料3）

事務局より、協議会の設立趣旨・役割・構成について説明【12】。

- 目的：二地域居住の促進に関する施策を検討・推進。
 - 構成メンバー：
 - 商工会、JA、観光協会、自治会、有識者、鳥取県、北栄町関係者、その他必要機関。
 - 主な役割
 - 特定居住促進計画の策定・実施協議。
 - 具体的施策の検討。
-

(5) 今後のスケジュール（資料4）

事務局より、今後のスケジュールについて説明【10】。

時期	内容
令和7年4～5月	協議会開催
令和7年5月	計画案の意見聴取（パブリックコメント、県）
令和7年6月	特定居住促進計画の策定・公表、議会報告
令和8年3月	協議会開催（進捗確認、計画更新）

- 必要に応じて随時協議会を開催予定。
-

3. 次回協議会

- 第1回協議会開催予定日
 - 4月15日（火）11時
-

4. 閉会

岡本副町長より閉会の挨拶があり、会議終了。

総括

- 二地域居住の推進は、北栄町の人口減少対策、地域経済活性化の鍵となる。
- 関係者間の意見調整を図りながら、具体的施策を検討し、計画策定を進める。
- 次回協議会では、計画の詳細についてさらに議論を深める予定。